

セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network

P.2-7

特集

防災シンポジウム 「災害時のトイレ問題を考える」

2025年度 防災シンポジウム

トイレだけは我慢できない!
一緒に考えましょう、災害時のトイレのこと

災害時の トイレ問題 を考える



おたがいさまビュー P.8-P.11 【市民活動・NPO】 はじめの一歩セミナーを開催します 活動の先輩から学びませんか？
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

防災シンポジウム

「災害時のトイレ問題を考える」

防災シンポジウムでの課題提起

トイレ問題を取り上げた理由

92万人以上の人が暮らす東京・世田谷区で大災害が発生したとき、様々な難題が降り掛かってきます。普段は何事でもないことが、災害時には一転して被災地を混乱に陥らせる難題となります。

せだがや災害ボランティアセンターでは、2018年から毎年、災害時に世田谷区内で想定される課題を取り上げて、区との共催による「防災シンポジウム」を開催しています。これまでには、「在宅避難」や「マンション防災」などを取り上げて、課題提起をしてきました。

8回目となる今年度は「災害時のトイレ問題を考える」をテーマに、1月12日に北沢タウンホールで防災シンポジウムを開催しました。三連休の最終日でしたが、区民の関心も高く、約150名の参加者がありました。



写真：高橋 郁雄

大規模災害の被災地が直面する課題の中でも、トイレ問題は極めつけの難題です。災害によってライフラインが途絶えると、普段使っていたトイレは使えなくなってしまうかもしれません。被災者は排泄の場所にも方法にも困り、そのままでは深刻な事態に陥ってしまうことは確実です。

能登半島地震の被災地においても、トイレは深刻な問題となりました。巨大大口を抱える東京では、トイレ問題はなおさら避けて通ることのできない緊急課題です。



シンポジウムで話し合ったこと

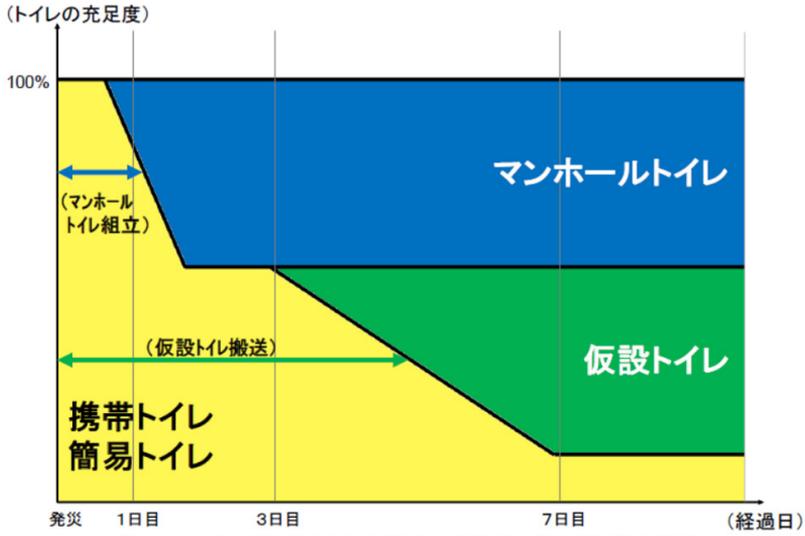
● せたがや災害ボランティアセンター主任 小泉 幸美



災害時のトイレについて様々な課題があることを実例をあげながら報告しました。もし下水管や各戸の排水管が破損すると、戸建住宅かマンションなどの集合住宅かを問わず、水を流せなくなり、水道が止まったからと言ってバケツに貯めた水を流すこともできません。そんなことをしたらどこかで汚水があふれてしまい大変なことになります。マンションの場合は下の階で汚水が漏れ出る、トイレから逆流して吹き出すなど大事件となってしまう。そのような二次被害を避けつつなんとか正常に排泄行為をするためには、私たちはどうしたらいいのか、このシンポジウムの課題を参加者全員で共有しました。

非常時のトイレとその名称

	マンホールトイレ		仮設トイレ
	携帯トイレ		簡易トイレ



出典：マンホールトイレ整備・運用のためのガイドライン (国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部)

● シンテイ警備株式会社 新宿支社
 防災訓練委託事業業務責任者・
 大隊長 依田真広氏



講演者の依田氏は、日頃から世田谷区内の指定避難所の資機材の整備に関わり、区内各地の避難所運営訓練でマンホールトイレなどについて説明やサポートを続けています。同氏からは、世田谷区内の区立小中学校など指定避難所96か所にマンホールトイレが設置されていること、その設置方法や使い方などの説明がありました。

マンホールトイレは首都圏で整備が進んでいるものの、幸いにもこれまで首都圏では大規模災害が起きていないため使用された実例がないそうです。そのため、今後の使用実例を通じて改良と普及につなげていく必要があるとのこと

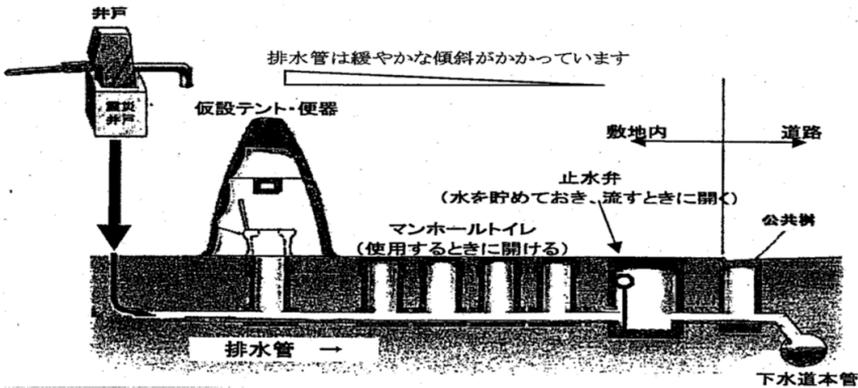
です。

普段はあまりなじみのない設備ですが、いざという時に大切な存在です。避難所運営訓練などに参

加して実際の設置状況を見て体験してほしいと参加者への提案もありました。

第2部 マンホールトイレと仮設トイレ

マンホールトイレ どんな作り、どんな仕組み



第2部 マンホールトイレと仮設トイレ

マンホールトイレ どのように設置するのか

設置方法「3つのステップ」

- ① 防災倉庫から 2つの箱を持ち出す
- ② 敷地内の専用 マンホールを開ける
- ③ 組み立てる



●株式会社エクスセルシア代表取締役
 一般社団法人日本トイレ協会運
 営委員 足立寛一氏



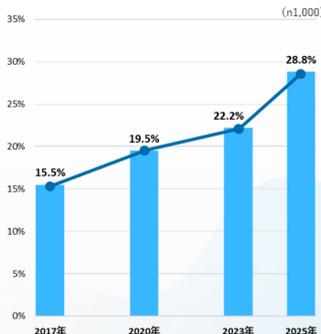
次の講演者の足立氏は、区内若
 林に事務所を構え、災害時用の携
 帯トイレ「ほっとトイレ」シリ
 ズを開発し、製造販売していま
 す。同氏から携帯トイレについて
 詳細な説明を受けるとともに、提
 供されたサンプル品を会場に陳列
 しました。ニーズに応じたさまざ
 まなタイプがあることも分かりま
 した。

大規模災害のとき、トイレの復
 旧にかかった時間は熊本地震で1
 か月、東日本大震災では2か月以
 上にも及び、それまでの間は携帯
 トイレの対応が必須であるとのこ
 と。国は1人当たり35回分の災害
 時用トイレ備蓄を推奨している。
 備蓄率は大規模災害の都度高まっ
 ているものの2025年時点で
 28.8%にとどまるそうです。
 携帯トイレの使い方だけな

災害時用トイレの備蓄状況



Q.あなたやあなたの家庭では、災害時用トイレの備蓄をしていますか。



2025年の備蓄率は28.8%

調査を開始した2017年は15.5%だった
 災害時用トイレの備蓄率が、2025年は
 28.8%まで上昇。

2023年から6.6ポイント上昇し、ここ数年
 で備蓄する人が増えている。

く、使用後の方法、収集されるま
 でのように保管すればいいの
 などについても詳しい説明を受け
 ました。

携帯トイレの使用方法【タブレット型】

【携帯トイレ】

- ① 断水した便器にごみビニール袋を敷き、タブレット型
 処理剤を入れる。
- ② 排泄をする。
- ③ 処理後の便袋を縛る



水分の少ない、多い(大型・小型)に問わず
 排便時の臭いや見た目の不快感を軽減

災害時用トイレの使い方、使った経験

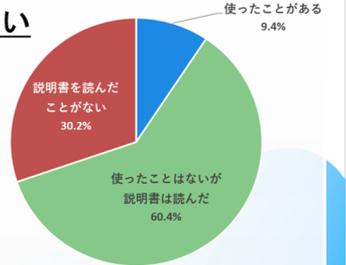
Q.あなたが備蓄している災害時用トイレの使い方を知っていますか。
※災害時用トイレを備蓄している人のみ回答

使ったことがある人は1割にも満たない

備蓄している災害時用トイレを使ったことがある人は、わずか9.4%。

説明書すら読んだことがない人が30.2%。

平時に使ってみることを強くお勧めする。



(n288)

2

● せたがや災害ボランティアセン
ター 渡邊珠人



登壇者3人の話を踏まえ、改めて「災害時のトイレ問題」にどう向き合うのかについて提言をしました。

仮に避難所でトイレを使うとする人1千人が朝同時にトイレに向かった場合、男女各10基あっても理論上は6時間以上の待ち時間が発生するとのシヨッキングな試算を紹介。トイレが使えない状況に陥ると、トイレに行くことを避けようとして食事や飲み物を取らなくなってしまう、その結果、身体機能の低下や体調不良を招き、災害関連死に直結する問題であることも指摘しました。

そして、トイレ問題は避難所の中だけで考えるのではなく、地域全体のトイレ資源をどう活用するかという共助の発想で取り組もうと訴えました。
具体的には、地域住民が安心し

災害関連死についても知っておいて！



て安全に使えるトイレ空間をどこに確保できるか、どれだけ確保できるか、そしてどうすれば衛生的に使用できるのかを考える必要があります。
公共施設のトイレの開放、協力を得られる事業所や店舗のトイレ

借用、状況に応じた仮設トイレの配備計画など、取り組むテーマはたくさんあります。

また、そこで使用する携帯トイレの配備、使用済み携帯トイレの処理方法、衛生面の課題や安全パトロールなどについても今後の検討が必要です。

●せたがや災害ボランティアセンター長（社会福祉法人世田谷ボランティア協会理事長）
横山康博



防災シンポジウムでトイレ問題をとり上げるのは、6年前に続き2回目です。今回は避難所の保健衛生問題として議論しましたが、今回は地域全体の共同の課題として捉えています。トイレ問題を考えると在宅避難のありがたさが分かります。個人の尊厳やプライバシーが守られるからです。避難所においても、自宅の中に携帯トイレを使える安

全空間が確保できるなら、その時だけ自宅に戻って「在宅トイレ」をしましょう。

今回は、マンホールトイレや携帯トイレなど、物質的なハード面に注目していますが、トイレ問題を考える時、例えば要介護の人が在宅避難できない場合はどうするのか、健康で文化的な最低限の生活、その人の尊厳やプライバシーをどう守るのかというソフトの面についても、改めて問い直す必要があります。トイレ問題という悩ましい課題に、地域全体で真剣に取り組んでいくことを訴えて、シンポジウムを総括しました。

* * *
シンポジウムの様子はYouTubeからご覧いただくこともできます。

YouTube
二次元コード



なお、進行の都合上、当日お受けできなかった会場からの質問について、登壇者のご協力もいただいてせたがや災害ボランティアセ

ンターのウェブサイトへ回答を掲載していますので、併せてご確認ください。

質問への回答
二次元コード



当日は、会場ホワイエにマンホールトイレを実際に設置して多くの方にご覧いただきました。また、各種の携帯トイレの実物など様々な展示を行うとともに、関係先のご協力により、来場された方への説明や質問への対応をしました。

ホワイエの一角では、せたがや災害ボランティアセンターの能登半島被災地支援や昨年の区内での豪雨災害対応などの紹介パネルも展示し、活動について知っていたく機会になりました。

今回のシンポジウムが、皆さんと一緒に災害と地域コミュニティについて考えるきっかけになればと思います。

* * *
災害ボランティアとして活動を希望される方は右下の二次元コードからお申し込みください。



ご不明の点は、せたがや災害ボランティアセンターまで
電話：03-5712-5101（9時～18時 月・祝休）
e-mail：saigai-info@otagaisama.or.jp

小学2年生の送迎ボランティアを募集

知的障害がある小学2年生女の子の学校・デイサービスへの送迎をお手伝いいただける方を募集しています。お願いしたい内容は、①自宅から学校送迎バスのバス停まで徒歩15分ほどの距離を一緒に歩いていただくものと、②月曜日と木曜日に放課後等デイサービスに送っていただくものの2つあります。少しでもお手伝いくださると助かります。よろしくをお願いします。

- ①自宅から学校送迎バスのバス停まで徒歩15分ほどの距離を一緒に歩いていただく。
場所/自宅は松原3丁目、バス停は甲州街道沿い
曜日/月・火・水・木・金
時間/8時に自宅出発～8時15分くらいにバス到着
- ②バス停から放課後等デイサービス(赤堤2丁目)に送っていただく。
曜日と時間/月曜日は13時55分 木曜日は15時45分
- 問合せ/北沢ボランティアビューロー 担当:中里
TEL: 03-3420-2520 メール: kitabora@otagaisama.or.jp

【能登支援】写真洗浄ボランティアを募集

写真洗浄ボランティア「課外のあらいぐま」では、東京でできる被災地支援のボランティアを募集しています。写真洗浄ボランティアとは、水害などで濡れて汚れてしまった写真をアルバムから剥がし、水洗いで綺麗にして持ち主の方へ返却する活動です。かつて東日本大震災や西日本豪雨、2019年台風19号(川崎)の写真洗浄に取り組んできました。この度、2024能登半島地震及び9月豪雨により被災した写真を預かり洗浄します。小学生以上でしたら誰でも参加できます。持ち物はカッター・ハサミ・新聞紙などです。インターネット「写真洗浄」で検索すると全国の写真洗浄やメディア記事など出てきますのでイメージが湧きやすいかもしれません。お金では買えない大切な写真を救う作業を一緒にしませんか?最新の活動情報等は下記二次元コードからご確認ください。

お問い合わせはメールにてお願いします。

- 日時/毎週土曜、または日曜(予定)
- 会場/世田谷ボランティアセンター(下馬2-20-14)
- 交通/東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩12分
- 募集人数/毎回20名程度
- 条件/30円(能登との往復宅配便代、備品代)
- 問合せ/課外のあらいぐま 担当:松浦
メール: kagaiguma@gmail.com



世田谷区いずみ学級(知的障害者の青年学級)でボランティアしませんか?

いずみ学級は、知的障害のある人たちと、彼らを支え共に学び、活動するボランティアにより運営する学級です。一年を通してレクリエーションやクラブ活動、バスハイク、クリスマス会、ミーティングなどの活動をしています。学生や社会人、主婦など、老若男女問わずさまざまな人たちがボランティアに参加しています。資格等は不要です。知的障害のある人たちと関わることに関心のある方なら、誰でも参加できます。

ボランティアの募集は年間を通じて行っています。詳細は世田谷区公式ホームページから、ページIDに3587を入力してご覧ください。

- 日時/月1～2回、日曜の9時50分～15時30分
- 場所/世田谷中学校、八幡中学校、芦花中学校の3ヶ所で実施(外出行事もあります)
- 交通/世田谷中学校:東急世田谷線若林駅徒歩10分
八幡中学校:東急大井町線九品仏駅徒歩8分
芦花中学校:京王線芦花公園駅徒歩8分
- 問合せ/世田谷区教育委員会事務局生涯学習課 いずみ学級担当
TEL: 03-3429-4259

毎週火曜もしくは木曜の朝にごみ出しをしてくださる方を募集

池尻（世田谷公園の近く）にお住まいの90代の女性が、腰の具合が悪く階段の上り下りが大変で、ごみを集積所まで持っていくことが難しいため、ごみを出してくださる方を探しています。収集日は毎週火曜日または木曜日で、朝8時頃までに溜まったごみを集積所に持って行っていただきたいです。＊ごみの種類はその都度、変わります。また、当日はインターフォンを鳴らし直接ご本人からごみを受け取ります。詳しくはお問合せください。よろしく申し上げます。

- 日時／毎週火曜日または木曜日の朝8時頃まで
- 場所／池尻（世田谷公園の近く）
- 交通／東急田園都市線池尻大橋駅または三軒茶屋駅から徒歩15分程度
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当：鈴木、小畑（おばた）
TEL：03-5712-5101 メール：suzuki-j@otagaisama.or.jp

4歳の女の子の保育園の送りを手伝ってくださる方を募集

4歳の女の子を朝、保育園まで送ってくださる方を募集しています。お母さんと二人暮らしですが、お母さんは病を患っていて無理ができません。週1回だけでもお手伝いいただくと助かります。女の子は、きかんしゃトーマスや乗り物が大好きで、人なつこくて明るいお子さんです。詳しくはお問い合わせください。ご連絡をお待ちしています。

- 日時／火曜日の朝（繁忙期は別日もお願いしたいです）
- 内容／7時15分に自宅（東急大井町線上野毛駅近辺）に迎えに行き保育園（東急大井町線等々力駅より徒歩約8分）まで送る。おしゃべりを楽しみながら20分程度の道のりを歩いていただきます。用意してあるバギーに乗るので歩いて移動するよりも安全です。
- 条件／子育て経験のある女性。交通費は出ません。
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

マーマレードづくりのボランティア募集

誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指す、NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブでは、マーマレードづくりのイベントを行います。一緒にマーマレードを作りましょう。できあがったマーマレード1個をお持ち帰りいただけます。

- 日時／3月1日、15日、22日、
4月5日、12日、19日、26日 いずれも日曜10時～15時
- 場所／ウェーブ分室（弦巻2-39-11）
- 交通／東急田園都市線桜新町駅下車徒歩約10分
- 条件／持ち物：エプロン、頭にかぶる帽子やバンダナ。昼食付き。
- 問合せ／NPO法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ 担当：一宮（いちみや）
TEL：070-5457-7781

北沢ボランティアビューロー改修工事に伴う長期休館のお知らせ

北沢ボランティアビューローの改修工事は順調に進んでいます。仮事務所では、会議室の貸出を休止していますが、他の窓口業務は行っています。

- 仮事務所での執務／2026年3月まで（予定）
- 場所／世田谷区梅丘分庁舎（松原6-3-5）
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅北口下車徒歩2分
- 開館日&時間／月～金曜日10時～17時
- TEL：03-3420-2520 FAX：03-3706-2854 メール：kitabara@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は2月15日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

【市民活動・NPO】はじめの一步セミナーを開催します 活動の先輩から学びませんか？

地域で活動を始めてみたい方や、一緒に活動する仲間を増やしたい方などを対象に、既に活動を始めている団体をゲストとしてお招きし、活動にかける想いや苦労したお話などを共有していただくセミナーを開催します。より実践的・具体的な事例を学び、皆さまのこれからの活動のイメージを膨らませてみませんか？

- 日時／3月14日(土) 13時～15時30分(受付12時45分～)
- 場所／三茶しゃれなあとホール(三軒茶屋1-41-10)
- 講師／世田谷区で活動中のボランティアグループ(2団体)
各々、活動歴・活動内容が異なる団体です。
- 対象／世田谷区内で、地域づくりやボランティアなどの市民活動
これから始めてみたいとお考えの個人や団体の方。
- 申込み／右記二次元コードからお申込みください。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101



リサイクル市(バザー) 開催@世田谷ボランティアセンター

世田谷ボランティアセンターでは、恒例のバザーを開催します。みなさまからご提供いただいた品物をリサイクル市(バザー)で販売し、その売上金はボランティア・市民活動推進事業の運営費用として活用され、「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てられます。是非、掘り出し物を探しにいらしてください！

- 日時／3月14日(土) 11時～14時
- 場所／世田谷ボランティアセンター2階(下馬2-20-14)
- 取扱商品／衣類、衣料雑貨、生活雑貨、食器、アクセサリ、バッグ、おもちゃ他
- 交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅下車徒歩約12分
- 整理券／当日9時45分から世田谷ボランティアセンター前で整理券を配布します。※配布時間前のお並びは、近隣の方のご迷惑になりますのでご遠慮ください。
- 詳細は右記二次元コードからご確認ください。
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101
- ※当日、品物の提供は受付いたしません。



もっと語ろう不登校 part.309

これまで31年間にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時／3月7日(土) 14時～
- 場所／NPO フリースクール僕んち(代田4-32-17)、またはZOOMにて
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅下車徒歩約10分
- 問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 高橋
TEL: 090-3905-8124 メール: fsbttoru@yahoo.co.jp

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重していきます。お気軽にご相談ください。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL: 03-5712-5101
メール: v-soudan@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

ボランティア座談会のお知らせ（二子玉川地区）

ボランティアや地域活動をしている方が出会い・つながる場として、今年も座談会を開催します。ボランティアに興味ある方、ボランティア・地域活動をしている人とつながりたい方、どんな団体が活動しているか知りたい方。ぜひ、ご参加ください。

- 日時／3月23日（月）10時30分～11時30分
- 場所／二子玉川まちづくりセンター 3階活動フロアー（玉川 4-4-5）
- 交通／東急田園都市線 / 東急大井町線 二子玉川駅下車徒歩約5分
- 条件／二子玉川地区でボランティア活動に関心のある方
- 参加費／無料
- 問合せ／二子玉川あんしんすこやかセンター 担当：市川・衣川
TEL：03-5797-5516

音訳ボランティア養成研修説明会を開催します

世田谷録音奉仕グループ「ひびき」は、1978年から梅丘を拠点に視覚障害者のための録音図書を作り続けているボランティアグループです。現在、『将棋世界』（日本将棋連盟発行）や新聞記事の抜粋など、5つの定期刊行物をCDにして発行し、視覚障害者等の方へ届けています。また、個別にご依頼いただいた書籍等の音訳、さらに通常の音訳に加えて、音声合成（テキスト音声読み上げソフト）による音訳もお受けしています。（活動についてはホームページでもご案内していますのでご覧ください）この度、下記日程で「音訳ボランティア養成研修説明会」を開催します。参加を希望される方はメールでご連絡ください。

- 日時／5月9日（土）、12日（火）10時～11時30分
- 場所／世田谷区児童相談所（松原 6-41-7）
- 交通／小田急線梅ヶ丘駅、小田急線豪徳寺駅、東急世田谷線山下駅下車徒歩約5分
- 問合せ／世田谷録音奉仕グループひびき
メール：info.setagaya.hibiki@gmail.com



個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101
メール：v-soudan@otagaisama.or.jp

市民活動・NPO相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。（原則として事前予約制です）

- 問合せ／最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。
電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

AIシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト（世田谷版G B E R「ジーバー」）で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は2月15日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】
 災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】
 リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】
 訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】
 介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】
 障害について ▶ 【ぽーとせたがや、スペース ココカラ。】

協会職員大募集/
作業療法士 訪問介護員
支援員 相談員

寄付で社会参加
ご寄付のお願い

お支払い方法が
選べます。

- ・ クレジットカード
- ・ Amazon Pay
- ・ 銀行振込

寄付金控除を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。